

2007年度大統領予算案公表、USPTO 予算案について
～ 対前年度約 200 億円増の 2200 億円を要求、定員 (FTE ベース) は 8500 人超へ～

2006年2月6日
JETRO NY 澤井、中山

本日、2007年度大統領予算案が発表され、USPTOの予算案の詳細も商務省より公表された。

同発表によれば、USPTOの2007年度予算案は昨年の16.83億ドルより9.5%増の18.43億ドル(約2200億円)となっている(次頁図参照)。2007年度大統領予算案全体では昨年度に比し2.3%増であることから見て、USPTO予算は破格の増額といえる。また、2007年度もUSPTO料金収入の全額留保を求めるものとなり、かかる要求は3年連続となった。

更に、常勤換算値たるFTE(full time equivalent)ベースでの職員数は、2006年度に対し682名増員の8557人と見積もられている(次頁表参照)。なお、FTE(常勤換算値)は、指標の相違から、実際の職員数と異なることに留意¹。

なお、今般発表されたUSPTOの予算案は、現料金水準(2006年度までの暫定改定)が引き続き2007年以降も維持される前提で設定されたものと考えられる²。また、今般発表された予算原案は、議会の予算審議の段階で減額となる可能性もある。

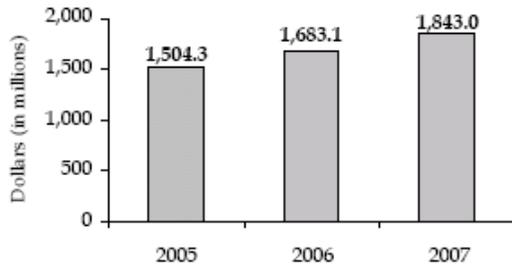
<2月6日付けプレスリリース>

<http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/02-06-06commerce.htm>

¹ 例えば、2005年度のFTEは6825人であるのに対し、実際の職員数は2005年度USPTO年報によれば、7363人。

² 2004年12月8日にUSPTOの料金改定が実施されているが、本料金改定は2年間限り(2005-2006年)の時限的な適用であることから、当該料金改定を恒久化し、さらに料金ダイバージョンを廃止することを盛り込んだ法案(H.R.2791)が昨年議会に提出され、11月には下院を通過しているところ。

PTO Program Level



Summary of Appropriations

<u>Funding Levels</u>	2005	2006	2007	Increase
	<u>Actual</u>	<u>Estimate</u>	<u>Estimate</u>	<u>(Decrease)</u>
New Offsetting Collections/Program Level	\$1,504,266	\$1,683,086	\$1,842,966	\$159,880
Fee Collections	(1,504,266)	(1,683,086)	(1,842,966)	(159,880)
TOTAL APPROPRIATION/BUDGET AUTHORITY	0	0	0	0
FTE	6,825	7,875	8,557	682

<http://www.osec.doc.gov/bmi/budget/07BIB/USPTO.pdf>より抜粋

(了)